



Tokyo Design Week 2014

KARIMOKU NEW STANDARD Exhibition

2014.10.25(sat) - 10.29(wed)

KARIMOKU NEW STANDARD office



食事をする、ひと休みのために腰をかける、眠る、本を収納する、文章を書く ...。人はより豊かな生活を営むために家具を使います。2009年のブランドスタート以降、カリモクニュースタANDARDが大切にしているのは、家具に近づき、日常と同じような感覚で家具を体験していただくこと。リアルな場所、時間の中で、カリモクニュースタANDARDの家具に出会っていただく機会をたくさん作れたらと考えています。今回のエキシビションは、池尻大橋駅から徒歩約10分のプレス事務所が会場です。プレス事務所の3名、デスクをシェアする建築家、編集者、インテリアデザイナー、合計6名がデスクワークをしているオフィスを、カリモクニュースタANDARDの家具にチェンジ。いつも通りに活動をしている実際の“仕事場”で、新作を含むこれまでのコレクションを心置きなくお楽しみください。

【新作も発表致します】

写真左：Cartor Low Chair

写真右：Color Wood Dining (Φ95/ dot) ほか

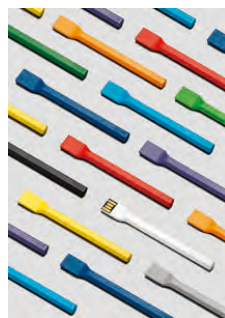


Special Feature

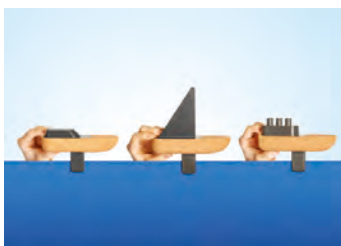
Q&A: BIG-GAME curated by David Glaetli

Selection of 10 products designed by BIG-GAME for 10 different companies in the last 10 years.

デザイナー来日！
スペシャルトークイベント開催！



left: CASTOR CHAIR
/ KARIMOKU NEW STANDARD (JP)
middle: PEN / Praxis (HK)
right: CARGO / Alessi (IT)



left: BOTE / Materia (P)
middle: BEAM / HAY (DK)
right: SMALLWORK / Habitat (F)

オフィスに併設のギャラリースペースでは、カリモクニュースタANDARDの立ち上げ時から参加をしているデザインユニット、BIG-GAMEのエキシビションを開催します。スイスを拠点に活動するBIG-GAMEは、世界的なブランドへ数多くデザインを提供し、今年はSwiss Design Awardも受賞。彼らがこの10年間でデザインしたプロダクトの中から、10のブランドの10のアイテムを展示。10のプロダクトそれぞれに対応する形で、カリモクニュースタANDARDのクリエイティブディレクターのデビッド・グレットリがピックアップした日本のプロダクトを展示します。対になるプロダクトを参照しながら見るにより、BIG-GAMEのデザイン、そして“デザイン”という活動そのものを考え、来場者との会話が広がる展示にしたいと考えています。

世界が求める新しい普遍

KARIMOKU NEW STANDARD は、創業 70 余年の歴史を誇るカリモクが、国内外で活躍する気鋭デザイナーたちとともに、2009 年にスタートしたブランドです。日常の暮らしに自然に溶け込む、革新性に満ち、楽しく、そして機能的なプロダクトを通じ、時代が求める普遍性とは何かを追求し続けています。

自然と共生するテクノロジー

創業以来 70 余年、森の恵みを受け成長してきたカリモク家具は、森林保全や林業地域の活性化など、日本の森が抱える課題に、木製家具メーカーとしてできることは何か？を考え続けてきました。KARIMOKU NEW STANDARD は、サステナブルな木材利用を通じて、森そして地球環境のバランスを取り戻すための、新たな挑戦でもあります。カエデ、クリ、ナラなど、主に紙パルプ原料のチップにされ、有効活用されることがなかった国内の広葉樹を材料に用いたのも、そのためです。伝統が培った家具製作のノウハウと革新的なテクノロジー、そして森の豊かな恵みを次世代へ、という想い。

KARIMOKU NEW STANDARD には、それらがしっかりと息づいています。

PROFILE

デザイナー



ショルテン&パーインクス/オランダ

ステファン・ショルテン (1972) とキャロル・パーインクス (1973) により、2000 年デザインスタジオを設立。細やかなリサーチによりモノの背後に潜む、文化的、芸術的コンテクストを探りながら、鮮やかな色彩と現代的な幾何学模様を巧みに使い、完成度の高いデザインを生み出す
www.scholtenbaijings.com



BIG-GAME / スイス

グレゴワール・ジャモノ (1978 スイス)、エリック・コプティ (1978 ベルギー)、オガスティン・スコット・ドゥ・マルタンヴィル (1980 フランス) が 2004 年設立。3 名ともローザヌの ECAL で教鞭を執っている。「衝突こそ進化を生み出す」というコンセプトのもと、出身地も考え方も異なるメンバーの力を見事に昇華させ、モノの形、機能、そして存在意義に新たな解釈を与えている。www.big-game.ch



シルヴァン ウィレンツ/ベルギー

1978 年ベルギー・ブリュッセル生まれ。アメリカ、イギリスと渡り住み、2003 年ロンドンの RCA を卒業。翌年、ブリュッセルで自身のスタジオを設立。素材や製造プロセスに実直に向き合いつつ、分かりやすい手法でデザインを導きだす。Established& Sons (イギリス)、Tamawa (ベルギー)、HAY (デンマーク)、など各国のブランドのデザインを手掛けている。
www.sylvainwillenz.com



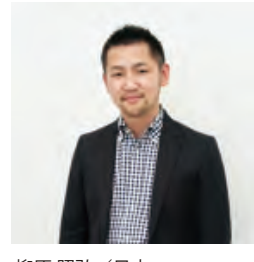
TAF / スウェーデン

建築とデザインを学んだガブリエラ・グスタフソンとマティアス・ストールボムによって、2002 年ストックホルムに設立。建築やデザインの存在、そして機能がどれほど日常生活において、主張しすぎることなく、効果的に影響するか。自身の普遍的な提案が、特別な状況をうみだすかということを念頭に活動を続けている。
www.tafarkitektkontor.se



ECAL / ルシアン・ギュミ/スイス

1988 年スイス生まれ。家具製作のトレーニングを積んだ後、ECAL に入学。プロダクト&インダストリアルデザインの二つの学科を専攻しながら、綿密で論理的なソリューションを求めるデザイン手法を手がける。在学二次に ALESSI との共同プロジェクトでデザインしたカードスタンド「Berra」が KARIMOKU NEW STANDARD の目に留まり、2012 年のミラノで正式なデザイナーデビューを果たす。www.ecal.ch



柳原 照弘/日本

1976 年香川県高松市生まれ。2002 年に自身のスタジオを設立。完成されたモノの形だけでなく、“デザインする状況をデザインする”ことが重要であるという考えのもと、プロダクトから空間まで、ジャンルを超えたプロジェクトを手がける。OFFECCT (スウェーデン) や PALLUCCO (イタリア) 等、国外のプロジェクト多数。KARIMOKU NEW STANDARD では立ち上げ時から 2013 年 2 月まで全体のアートディレクションを担当。teruhiroyanagihara.jp



カリモクデザインチーム/日本

カリモク家具インハウスデザイナー。それぞれのデザインを手がけると同時に、社外デザイナーたちの技術的なサポートも担当。これまでの社内の常識や品質要件を前提としたデザインからの脱却を目指しつつ、ブランド全体のデザイン性と製品のクオリティを高いレベルで両立させるべく、チャレンジしている。www.karimoku.co.jp

クリエイティブ・ディレクター



ダヴィッド・グレットリ/日本

1977 年スイス生まれ。ECAL を卒業後、チューリッヒでデザインおよびデザインマネジメントに従事。2008 年より活動の拠点を日本に移し、KARIMOKU NEW STANDARD の立ち上げ当初より柳原照弘とともにデザインディレクションに関わってきた。2013 年 3 月より、同ブランドのクリエイティブディレクターに就任。

KARIMOKU NEW STANDARD Exhibition 開催概要

会期：2014年10月25日（土） - 10月29日（水）

OPEN：11:00 - 19:00（10月29日は～18:00まで）

会場：デイリープレス

東京都目黒区青葉台 3-5-33 川邊ハイツ 1F（東急田園都市線「池尻大橋駅」徒歩 10分）

tel. 03-6416-3201 www.dailypress.org

オープニングパーティー：10月25日（土） 19:00 - 21:00

デザイナートーク：10月25日（土） 18:00 - 19:00 / 10月27日（月） 17:00 - 18:00

※BIG-GAME とデビッド・グレットリによるオープントークを行います。

BIG-GAME の活動、思考により一層近づいてみて下さい。

【PRESS CONTACT】

ご質問、デザイナーやブランドへの取材、掲載のご希望がございましたら下記担当までお問合せ下さい。

竹形尚子（デイリープレス）

tel. 03-6416-3201 fax. 03-6416-3202

naotakegata@dailypress.org